

平成27年度 政務活動費 先進都市調査報告書

会派名	新緑会
議員名	早坂 博 羽立 秀光
調査実施年月日	平成27年11月17日(火)
調査先 自治体名等	石川県加賀市
調査項目	町屋の再生・活用について
調査目的	町屋を活用した活性化策の具体的内容
報告内容 実施したこと	<p>1 視察先(市町村)の概要 人口：69,837人 行政面積：306.00km²</p> <p>2 視察内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町屋再生計画の概要について ・町屋再生事業(まちづくりファンド事業)について
感想(まとめ) 本市へ生かせること等	<p>加賀市は、日本列島のほぼ中央に位置する自然豊かな場所にあり、また、九谷焼などの磁器をはじめとしたたくさんの伝統工芸品が市内各地で制作されており、歴史と文化溢れる街でした。</p> <p>加賀市内の大聖寺地区には江戸時代の町割りがそのまま残されている場所があり、同地区には、戦前までに建てられた歴史的価値のある建物が数多く点在していました。そのため、同市では歴史的景観の保存という貴重な財産を再生・活用するため、平成18年度に「町屋再生事業」をスタートしました。</p> <p>町屋再生事業は、①歴史的景観の保全、②良好な住居環境の実現、③まちなかの賑わい創出を柱に事業が進められています。</p> <p>主な事業内容は、建物の補修等で最大250万円までの補助をするものであり、これまでに20件の建物が再生されているとのこと。再生された建物は、工芸、絵画ギャラリーなど文化的なものや、カフェや居宅介護施設など生活に密着した建物もあるとのこと。</p> <p>同市の取り組みは単なる観光客向けに景観のみをきれいにするというだけでなく、地域に暮らす人にも便利な施設も数多くあり、持続的に街を発展させようとする意気込みが強く感じられました。</p> <p>本市でも歴史的価値がありながら活用されていない建物もあり、加賀市の取り組みは参考にできることがあるのではないかと感じました。</p>